## 松山議員

### エコミュージアムについて

**問**①今年度から取り組む「勝山左義長を活かした観光振興・地域活性化事業」の事業内容と、3カ年事業をどのように進めていくのかを伺う。

②エコミュージアムの活動や、勝山ふるさと検定を合格された皆さんが活躍できる仕組みとしてエコミュージアム「市民学芸員」の制度化をどのように進めていくのか。

③左義長まつりの記録など貴重な映像等をデジタル化し、デジタルアーカイブを進めていくべき。

**答**①23年度は速やかに実施すべき事業が採択されている。次年度以降予定する事業として、左義長をベースとする通年型観光パンフレット制作等を考えている。

②エコミュージアム協議会の中でその認定方法や活動内容を制度化し、定着を図っていく。

③計画していく。

### 自然環境保全について

**問**①自然環境及び勝山市の生物多様性に気づき、保全に取り組まなければならないと考えるが、どのように取り組んでいくのか。

②地域環境を地域住民が主体となって守り、市が保全指定する「環境保全区域」に取り組むことができないか。

**答**①自然環境に恵まれた勝山を次の世代、その次の世代も持続して発展し続けるという仕組みを作らなければいけないという考えをもった人たちが住みついていく。このことが、一番大事なことであると強く認識をして市政を担当している。

②区域選定の方向性について今後十分研究していく。

その他の質問
・救急救命体制について

## 下道議員

### 「道の駅」について

**問**勝山市の基幹産業である繊維産業が弱くなり、少子高齢化による働き手減少の中、勝山市がいま優先すべき事業として税収増につながるような政策が必要である。その一つである「道の駅」の設置に向け、現在どのように進めているか具体的なビジョンを伺う。

**答**立地場所は将来交通量、立ち寄り率などを勘案して選定することが重要であり、登録申請からオープンまでの整備手法の進め方や地域振興施設建設のための財源確保、運営体制など解決しなければならない課題が多くある。

今後、まちなか誘客と連携した適地や機能のあり方について引き続き調査研究を進めていく。

### 勝山市における出産事情について

**問**平成19年より福井社会保険病院の産婦人科で分娩・入院ができなくなった。福井大学医学部附属病院など、県内の医療機関との出産支援体制の連携によりタクシー代など交通費が出ることになったが、やはり勝山市内で出産できるのとできないのとでは妊婦の安全面から見ても全然違う。勝山市で分娩・入院ができないことについて、今後の市の対策を伺う。

**答**産婦人科医確保のため福井社会保険病院も努力しているが、市でも重要課題と捉えており、今年7月に市から県への重要要望事項の一つとして「産婦人科医等の専門医の確保についての緊急支援」を要望した。

今後とも福井社会保険病院と連携し、産婦人科医の確保に努めていきたい。

その他の質問
・中学校教科書の採択について
・新体育館の建設地について

道の駅の例